



まほろばの丘から



令和4年7月8日 文責 校長 江口 尋信

七夕の願い

昨日、7月7日は七夕です。遙か遠い昔ですが、わたしにも子ども時代があり、幼稚園や小学校で短冊に願いを書いて、こよりで笹に結んだことをかすかに憶えています。

3年生が短冊に願いを書いていたので見てみますと、次のような願いが目にとまりました。



- おうちの犬が長生きしますように
- 友だちづくりがじょうずになりますように
- せんそうのない世界になりますように
- おにいちゃんがサッカーをがんばれますように



どの願いも、微笑ましく、子どもにしか書けないような願いではないかと思えます。子どもたちの願いが叶いますように。

左)子どもたちの願いで飾られた笹



夏休みを前にふり返ろう

早いもので、夏休みまで残りわずかとなりました。本年度の約3分の1が終わったこととなります。幼かった1年生はすっかりたくましくなり、6年生は最上級生らしい顔を見せてくれるようになりました。他の学年も、4月当初と比べて、大きな成長を見せてくれています。

さて、7月20日(水)、全校朝会の話で、子どもたちといっしょに前期前半をふり返りたいと思います。ふり返るのは、本校の合言葉である「**だ**まって掃除」「**に**っこり挨拶」「**し**っかり学習」「**こ**ころをつなぐ言葉」(「だ・に・しっ・こ」)についてです。「ふり返り」は英語で「リフレクション」といい、自分の行動や状態を客観的に省みる「内省」と訳されるのだそうです。子どもたちにとって、この「自分を客観的にみる」ことにとっても大きな意味があります。自分のことを客観的にみることができると、自分のものの考え方や行動を、よい方向へとコントロールすることができるようになります。

全校朝会の話では、掃除の時間に廊下や床を一生懸命に磨く姿がたくさん見られるようになったこと、相手よりも先に自分から挨拶することができるようになったこと、授業中の発表が増えてきたこと、友だちを思い



床をワイパー拭きする4年生



進んで手を挙げる2年生

やる言動ができる人が増えたことなどを、具体例を交えながら紹介したいと思っています。そして、夏休み明けの頑張りへとつないでいきたいと思っています。